

特別増刊号

2,000部発行

発行編集

沼津市商店街連盟

沼津市御幸町14-5

沼津商工会議所内

TEL.055-931-1111

あ き ん ど

特 別 号

目 的

沼津市商店街連盟は、商店街の連絡強調により、その振興発展をはかるをもって目的とする。

鉄道高架化完成まで十五年は長すぎる――

沼津駅南北自由

通路設置を熱望

本年四月十五日には、駅北にB i V iがオープンし中心市街地への集客に貢献している。また、再開発ビルは、工事が順調に進み骨組みが姿を見せ、平成二十年春の完成による中心市街地の活性化やにぎわいづくりが期待される。

少子高齢化が政府の予測よりも急速に進展する中で、快適なまちなか居住や消費生活者の利便性の向上を図り、都市の魅力度をアップすることが重要です。そこで鉄道高架が完成するまでの間、暫定的に沼津駅南北自由通路の設置が急務であると考へ、今回、各商店街・会代表者の沼津駅南北自由通路設置に対する思いを集約し掲載いたします。

沼津駅南北自由

通路の実現を熱望

沼津市商店街連盟

会長 芦川 勝年

沼津駅周辺総合整備事業が目に見えて動き出しました。これにより中心市街地の活性化に向け、また東部の拠点都市としての沼津は大きく前進している感があります。

しかしながら、東部の拠点であるべき沼津の中心市街地の利用者には、沼津駅南北を行き来するのにわざわざ遠回りをしなくてはなりません。沼津駅を南北に横断する手段は、西に大きく迂回し暗いあまねガードを利用するか、若しくは入場料を払ってJ Rの駅構内を利用する、又は南北循環バスを利用する以外に方法はなく、長年改

善が求められているのが現状であります。

沼津駅周辺総合整備事業が完成するまでの長い期間、順次実現されゆく中心市街地の整備による投資効果がより高められ、その利便が来街者に体感される為にも、投資街区の機能維持装置として暫定南北自由通路の設置は必要不可欠であると考え熱望いたします。

沼津駅南北自由

通路の早期実現を望む

沼津大手町商店街振興組合

理事長 松田 和孝

沼津駅北口にB i V iがオープンした。二〇〇八年春には再開発ビルが南口にオープンする。オープンしたからといって人ごとのよ



大手町再開発ビル
平成20年春オープン予定



B i V i
平成18年4月15日オープン

沼津駅南北

自由通路への提案

沼津仲見世商店街振興組合

理事長 山崎 勝

四月十五日に駅北にB i V iが
進出するに及び、仲見世商店街の
来街者は、再開発ビル建設工事に
よる、不自由な往来も加え、益々
減少に加速が付きだしたと思われ
ます。

また、仲見世商店街の共同販促
事業等の財源となる、仲見世第一
駐車場の駐車台数は顕著に減少し
ております。

南北自由往来の要望は、渡辺市
長の任期中に提案されておりまし
たが、現在に至るまでの間、パブ
ル景気の終焉より十字屋・ニチイ・
長崎屋・丸井をはじめとする大手
資本の撤退が相次ぎ、沼津市中心
市街地の来街者は、急速に減少の
一途をたどりました。

今後もサントムーンの拡張・片
倉製糸跡のS C、富士市のジャス
コ、バイパス沿線にアピタ進出の
事態となれば、沼津駅前に再開発
ビルが建設され多少の賑わいが予
想されたとしても、現状では対抗
得るかは疑問であります。

娯楽施設を兼ね備えた周辺S Cに
対抗できる手段としては、仲見世
商店街に加え、西武・富士急・ア
ントレー・再開発ビルに加え、駅
北のB i V i・イシバシプラザが
一体化し全体として狩野川までの
回遊性を持たせる事が必要であり
ますが、このままでは、それら既
存の物販資本群が二十年先の高架
事業完成時に残っている保証はな

く、先に述べた十字屋以下の大手
資本同様となる事は、大いに考え
られます。

以上より、貨物ヤード建設や御
殿場線高架を含む事業は中心商店
街の活性化とは別個のものと考え
え、新たに沼津駅にソフト面の対
応として、南北の自由往来が出来
得る様、①入場券の無料化を実施
②入場券を五十円程度に値下げす
る。ないしは、ハード面として現
在、沼津駅南北口を結ぶ跨線橋を
二m程度拡張する工事を行い、鉄
道利用者と往来者を区別する枠を
設け、南側は再開発ビルと接続し、
北側はB i V iと結ぶものを建設
する事を提案いたします。

費用はJ R東海・行政・商店街・
駅周辺の大型物販店・娯楽施設・
ホテル・駐車場等が応分の負担を
する事とする。

沼津駅南北

自由連絡のコンセプト

沼津駅前名店街

会長 藤原 規夫

キラメッセが北口に出来て何
年経ったか？当初より南北自由
道路の必要性が言われて久しい。
二重投資になると言われるがそ
れでも必ず必要である。それが二
十億かかって。

しかし取り合えず現実的な案
を実行してほしい。

第一案 現在の渡線橋をそのまま
に入場券を買い出口で返金する。

第二案 パーテーションで通路を確保。
以上、大変単純であるが経済的
であると思う。

うに思われるのは、鉄道によって
街が分断され、南北の往来が迂回
しなければならぬためである。
もし、簡単にかつ自由に往来
できたとしたら、周辺にはにぎわ
いが生まれたであろうと悔やまれ
る。折角の施設が街のにぎわいの
創出に十分な効果を与えられない
のが残念に思う。

また、沼津駅の高架化が実現す
るまでの今後の長い年月を、沼津
市民はもちろんの事、来街者の皆
様に不自由な思いをさせるわけに
はいかない。私も商店街には、
人にやさしい、お客様にやさしい
街づくりが基本であり、市民はも
とよりお客様にとって有用な方法
を考える必要がある。そこで駅南
と駅北を結ぶ自由通路の早期設置
を実現するためJ Rや行政への積
極的な働きかけをし、市民のため
に沼津駅南北自由通路の早期実現
を望む。

南北自由

通路に期待

沼津リコー通り商店街振興組合

理事長 大田 賢一

景気回復の兆しが見えている昨今です。

しかし、地域商店街への実感はいま一歩です。さて沼津駅周辺総合整備計画の一環として沼津駅北に平成十年キラメツセぬまづがオープンし、続いて平成十四年七月に北口駅前広場の整備が完成し沼津の顔としてのやすらぎの空間も生まれました。

今年四月には都市型商業施設「Bivi」の開業により新たな文化、情報発信の拠点ができ更なる駅周辺のにぎわいを期待します。

この様に駅北開発が着々と進む中南北自由通路の設置により南北駅前広場をつなぐスムーズな移動が出来るためにも自由通路の整備が必要です。

将来鉄道高架により南北市街地が一体化し都市機能を十分生かす事が、沼津の活性化であり、早期完成を望みます。



沼津駅付近の整備イメージ

中心市街地活性化の具体化

商店街の役割に注目

沼津あげつち商店街振興組合

理事長 市川 諒

駅前再開発を皮切りにいよいよ高架化を推進する時期がやってきました。沼津市最後の大改造

になるこのチャンスをとらんとし実現して沼津全体の魅力をアップしていかなければならないと思います。商店街としては各個店のレベルを上げることが大変重要な仕事の一つになります。さらに雰囲気や歩みやすさを向上させる必要があり、また、世田谷区のように商店街に店を出しているお店が全店商店街に加入する条例の制定も必要だと思えます。南北の通行に関しては駅の下に新しい道路ができることもっと便利になりユニバーサルデザインの間からも歩行者にやさしい街づくりができるし、またJ.Rの貨物ヤードの効率化や高架下をどのようにしたら市民に有益な利用が可能かなどの再検討する必要があると思えます。五十年、百年先を考えたプランの検討を実現できるように働きかけをしなければならぬと考えます。すぐにでもJ.Rと市と市民を交えた真剣な検討ができる組織作りをしたほうが良いのではないのでしょうか。今、やらなければ明日はないと思えます。



沼津駅南北

自由連絡に注目

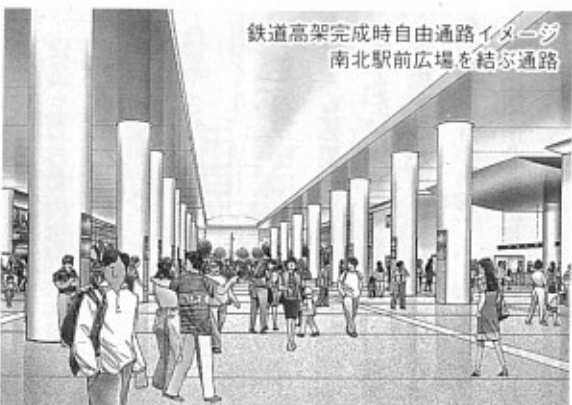
沼津上本通り商店街振興組合

理事長 長谷川 徹

今年度七月には「まちづくり三法見直し案」が国会をとり施行される事が確実となり、全国的に

新法のもと「コンパクトシティー」(日経四月二十四日朝刊)「商・住・政・街なかへ」行政・商業機能や住民を街の中心部に集める「コンパクトシティー」づくりが地方で加速している。人口減や高齢化、自治体の財政難に対応し、インフラ整備などを中心部に集中して中心商店街の活性化や公共投資の効率化を図る狙いだ。を具現化する動きが始まっています。現在沼津市は沼津駅周辺総合整備事業が進み、駅南には平成二十年春「大手町再開発ビル」がオープンされますし、既に駅北口広場(ユニバーサルデザイン)は整備され、さらに「Biviぬまづ」が開店してまず、「キラメツセぬまづ」の稼働率も高く、市民の移動には自由通路の設置が強く望まれています。しかしその自由通路は約十五年後の高架化完成まで待たなければならぬのは、行政としての責をなしていないと思えます。そこで、駅南と駅北の暫定自由通路の設置を急ぎ、高齢者や学生や一般市民に優しい中心市街地になることを期待します。高架化完成後には暫定自由通路は撤去されますし予算も掛かりますが、駅周辺総合整備事業成功の要の施設と考えます。

鉄道高架完成時自由通路イメージ
南北駅前広場を結ぶ通路



南北通路の 必要性

銀座通り商店会

会長 市川 仁 士

駅前中心商店街より少し南に位置する銀座通りでは、人通りが減少今も減り続けています。その点駅周辺には、まだ北も南も人の流れがあります。この流れをこちらの商店街まで持って来たいのです。ただ北口に来た人が南口に移動するのに、あの変則通路のあまねガードを通して南の商店街まで来るのは大変不便を感じます。その反対に南から北口に行く人も不便を感じていると思います。二〇〇七年十一月には技能五輪も開催され駅に人が集中します。又少子高齢化の時代に歩行者に少しでも近くを通って商店街、駅等に行く為に今早急に駅を中心とした南北歩行通路が必要と考えます。六月一日からは駐車違反取り締まり事務を民間に委託するとの事。車での買物は難しくなる一方電車、バスの利用が増え車の人は

駅周辺の駐車場へ置いての移動となり、益々南北歩行通路が必要となります。通路が出来る事により車も人もスムーズとなり、交通渋滞も解消され南北商店街の活性化につながる事と思います。

沼津駅の

南北の架け橋を

沼津中央通り商店会

会長 名取 知行

先日久々に徒歩で駅南の方へ出掛けた時に感じた事ですが、あまねガードから駅方面に向かう歩道は西側へ大きく回って行くか狭くて急な鉄の階段を登って行くしか無くずいぶん不便になったように感じたのは私だけだろうか、其の為か中には駅で入場券を買い構内を通る人も多いと言う話も聞きます、鉄道高架の大事業も良い事と思いますが完成まで十数年も掛かるのでは我慢も限界を超してしまふのでは、其の前に歩行者の南北交通をもっと円滑にする事が急務だと思います。今進めている駅前再開発ビルから駅北口広場をつな

ぐ歩道(動力歩道)があればB i V iとの回遊性も生まれ南北の交流が円滑に成り中心市街地の活性化につながるのでは、此の機会を見逃す手は無いと思います。其れには線路を跨がなければ実現せず是非ともJ Rさんの協力が不可欠だと思います。

沼津駅南北

自由通路について

駅北振興会

会長 杉山 克己

先日、駅前通りで小学生の女の子を連れのお母さんに道を尋ねられました。「バスで降りたのですがB i V iに行くにはどう行ったらいいのでしょうか」と。あまねガードを通る方法、入場券で駅を通る方法を教えたところ「そんなに不便なの、どうしようかしら」と、女の子と相談し始めました。その後どうしたのか知りませんが、沼津の南北の往来がこれ程不便なのかと改めて考えさせられた出来事でした。



バリアフリーの時代にこれ程のバリアーはとんでもない事で、南北を自由に平面で行き来出来るよう一刻も早い高架の完成を期待するところですが、現状は排気ガスの充満するガードか、入場券と云う高額の有料道路を使うより方法がありません。高架の完成までこのような状況を存在させるのは如何なものでしょうか、駅に南北自由通路を設置する事によりこの不便さが解消されるよう望みます。